

## 「なかじま 五七五」のすすめ

日本には「俳句」や「川柳」と呼ばれる短い詩があります。どちらも「五七五」のまとまりでできた詩です。小学生の作品の例を見てみましょう。

あさがおはめをだしそして	こんにちは	1年	深見明日香	
もんしろちようまたべんきようを	みにきたよ	1年	はたけなかくみ	
日がくれて	かぶと虫との	まちあわせ	4年	村本 紳
初夏の雲	夕日に向かつて	泳いでる	4年	八田有里
金魚ばち	のぞくとそこに	宇宙人	4年	砂田 瞳
夏カゼを	ひいてきいてる	雨の音	6年	檀原 麦

生活の中でふと心を感じたことを、「五七五」の短いことばを使って、読む人に伝わるように表現しています。読むとこちよいいリズムがあり、また短いのにその場の様子やその人の気持ちがあざやかに浮かんでくるようです。

よくみると、六文字や八文字のところもありますが、こちよいいリズムで読めればそれでよいのです。

さて、このような「五七五」をみなさんもつくってみませんか。

校長室の入り口に「なかじま五七五」ポストを置いていますので、いい作品ができたら入れてください。

ポストの中に作品がたまったら「なかじま五七五」という一枚文集で作品を發表します。發表するときは「学年」と「名前」も發表させてもらいます。また、短冊にして校内の掲示板に掲示させてもらうこともあります。あらかじめご了承をお願いします。

それではみなさん、心にと感じたことをあためて、五七五にまとめ、自分で何回も読んでみて、もつとよく表現できることばはないか、ことばをさがしてみましよう。

そうして最後にでき上がった作品は、きれいに清書して、ポストに入れてください。みなさんのみずみずしい作品を待っています。



※ 作品は次から引用させてもらいました。

- ・「現代子ども俳句歳時記」（金子兜太編、チクマ秀版社）
- ・インターネット「く小学生のための俳句ページ」ハイク・ワンダーランド」